

富士山の恵みを体験しよう! 柿田川自然観察会

8月17日(土)に、柿田川において自然観察会を実施しました。案内役は例年同様、公益財団法人柿田川みどりのトラスト、柿田川自然観察の会にお願いをしました。柿田川は富士山からの恵みである湧水によって形成され、その水温は年間を通して約15℃で一定であり、水位の変化も少なく、貴重な動植物が残存しているとともに、飲料水、工業用水等に利用されている、かけがえのない自然です。

家族を対象に募集し、15組48名の方々に御参加いただきました。開会式で

は、柿田川みどりのトラストの漆畑会長(ふじさんネットワーク副会長)から、柿田川の成り立ちや観察する動植物の説明が説明された後、同会会員からミシマバイカモ等の貴重な植物は採取しないことや、捕まえた動物は最後に必ず逃がすこと等の説明がありました。

参加者は実際に柿田川に入り、タモやバケツ等を使用して観察を行い、後半には実際に採取したウツセミカジカやサワガニ、アサヒナカワトンボのヤゴなどが入った水槽を囲んで、特徴の説明等が行われました。参加者は水槽内に手を



伸ばし、直接動物に触れたり、水槽の前で記念撮影をしたり、柿田川の自然にふれました。

写真は事前説明(左)、観察会(上、中央下)、捕まえた動植物の説明(右下)



富士山の草原を守ろう! 富士山草原性植生保全活動体験会

9月28日(土)に根原県有地において、静岡県と共催で草原性植生を保全するための草刈り作業体験会を実施し、指導員は特定非営利活動法人富士山自然の森づくりをお願いしました。根原県有地は静岡県版レッドデータブックの今守りたい大切な自然地域10選のひとつに指定されており、これまでもその貴重な生態系の保全管理が行われてきました。

今回は「アサヒ飲料株式会社富士山工場」と「特種東海エコロジー株式会社」の御協力により、飲料やトイレトーパーの提供をいただき、参加者からは感

謝の声が寄せられました。

当日は21名のボランティアが参加し、個人の方々のほか、アサヒ飲料株式会社富士山工場の皆様、常葉大学学生の皆様が参加しました。使い慣れない下刈り鎌を用いた作業でしたが、約0.5haもの面積を刈り取ることができました。お昼休憩後には、富士山自然の森づくり会員から、草原の成り立ちや、草原特有の生物相の説明、植物の実物の紹介がありました。

閉会式では同会の仁藤浪理事長から講評をいただき、草原性植生保全活動への協力へのお礼と、草刈り継続の必



要性について説明がありました。講評を聞いた参加者は、「来年度もこの活動に参加したい」と非常に意欲的でした。

写真は事前説明(左)、草刈り作業(中央下)、講習会(上)、記念写真(右下)

